

「センバツ、見応えのある試合を」

本社が光星高に寄付金



中村良寛校長（左）に目録と応援フラッグを贈る石藤清悦専務＝3日、八戸市の八戸学院光星高

デーリー東北新聞社（広瀬知明社長）は3日、2年ぶり12度目の選抜高校野球大会出場を決めた八戸学院光星高野球部に対し、寄付金と応援フラッグ300枚を贈った。

大会での活躍を祈願するフラッグは、本社の社内分社「東北のデザイン社」が製作。本社や総支局、本紙販売店などでも掲示する。寄付金は大会に向けた活動費に役立ててもらおう。

石藤清悦専務取締役と木村和彦取締役企画総務局長が同校を訪れ、中村良寛校長に寄付目録とフラッグを手渡した。石藤専務は「本紙でも大きく取り上げるの

で、見応えのある試合になるよう期待したい」とエール。中村校長は「このチームとの対戦でも面白くなると思う。寄付金は大切に使用させていただきたい」とお礼を述べた。（井上周平）